



## 町章

住田町の「す」の字を鳩と旭に図案化したもので、平和産業の町として旭日昇天の勢いで発展飛躍することを表徴したものです。

昭和31年10月制定



町民一人ひとりが  
主役として  
生き生きと活動し  
町民自身が誇れる  
自立したまちへ



### ◆ 住田町民憲章

わたくしたちは豊かな緑の山々と清流気仙川をこよなく愛します。

そして、住田の風土の中で培われて来たかおり高い伝統と恵まれた自然を生かし、心をひとつにして、豊かで住み良い町をつくるため、ここに住田町民憲章を定めます。

- 一 わたくしたちは、ひとりひとりの創意と恵まれた資源を生かし、勤労を尊び、産業の振興にはげみ、豊かな町をつくりまします。

- 一 わたくしたちは、ひとりひとりの個性を生かすすんで学習にはげみ、教養を高め、知性と実行力を身につける教育の町をつくりまします。

- 一 わたくしたちは、ひとりひとりの真心を生かし幸せな生活ができるよう、互いにきまりを守り助け合い、健康で明るい町をつくりまします。

昭和五十年九月八日制定

### ◆ 住田町民歌

#### 『幸せ創るまち』

作詞 倉科由加子  
作曲 菅野 由弘

- 一 流れさわやか いのちの水が  
うたうせせらぎ 気仙川  
生きるよろこび 育てる大地  
森のみどりに やまどり飛んで  
住田は豊かさ 招くまち
- 二 仰ぐ星空 心も澄んで  
夢はひろがる まちあかり  
あつもり草の 咲く山里に  
ひとりひとりが めくもり抱いて  
住田は明日を 拓くまち

- 三 山はふるさと 光の中に  
杉の若木が 伸びざかり  
望む五葉に 種山ヶ原  
人と自然が 一つになって  
住田は幸せ 創るまち

平成七年十二月五日制定